

## 1 教育目標

創造性に溢れた心豊かでたくましく生きる児童の育成

○自ら学び考える子 ○思いやりのある子 ○健康でねばり強い子

## 2 前年度の成果と課題

評価の低い項目は、校務の組織的な運営と清掃やはき物並べなどの児童の凡事徹底に関すること及び積極的な挨拶である。

各種調査では、全国や県の平均正答率に届かない学年・教科がある。特に、正答率30%未満の児童が全国や県より多い。また、基礎的・基本的な知識・理解・技能を活用することに課題が見られる。

体力テストの結果からは、男女ともほとんどの学年で、ボール投げ以外は、全国平均より劣る結果となっている。

## 【改善策】

## (1) 組織的な運営を強化する。

- ・ 職員会議を月1回定期的に開催することにより、全職員で教育活動への共通理解を深める。
- ・ 全職員で、「次年度への繋ぎ」を意識し、活動実施後は速やかに反省改善をする。また、記録は確実に次年度に繋げることを徹底する。

## (2) 「当たり前のことを一生懸命する」凡事徹底を強化する。

清掃の仕方を確認する時間を設け、全校児童で手分けして学校をきれいにしようとする態度を育てる。

年度当初に「指導の手引き」を見直し、全職員で共通理解を図り、共通実践を行う。特に、積極的な挨拶を重点項目として設定し指導する。

## (3) 学力の2極化を解消する。

学級全員で行っている日々の振り返り学習の時間を短縮し、個別指導の時間を確保する。

## (4) 活用力を育む。

授業研究会の充実を図り、研究の成果を速やかに日々の授業に生かす方を工夫する。

## (5) 運動能力の向上を図る。

一校一運動として、「朝マラソン」を継続するとともに、児童の運動意欲を向上させる工夫を行う。

体育の授業では、運動する時間の確保とともに、積極的に運動する意欲を高める工夫をする。

## 3 評価の方法

## (1) 評価の指標

学校職員、保護者、児童への質問紙調査や各種調査の結果を評価の指標として設定する。

## (2) 評価の時期

- ① 7月に中間評価を行い、2学期以降の改善点等について夏期休業中に全職員で共有するとともに、保護者・地域に公開する。
- ② 12月に最終評価を行い、3学期の取り組みについて全職員で共有するとともに、次年度の改善点について、保護者・地域に公開し、市教育委員会に報告する。

## 4 前期の課題及び2学期からの改善点

- (1) 保護者から指摘があるように、清掃が行き届かないところがある。
  - 毎日、担任か児童当番が清掃後に点検をする。
- (2) 自治的能力や主体的な態度を育てるために、朝の会や帰りの会で、児童に生活の様子を自己評価させることが大切である。(今日のめあてと振り返り)
  - 朝の会、帰りの会を大切にする。共通実践項目の再確認をする。
- (3) 体力の向上の工夫をする。
  - 「朝マラソン」の意識を向上させる。昼休みの外遊びを活発にする。
- (4) 授業改善の取り組みを推進する。
  - 国語か算数のどちらか一教科では、マイノートをつくって授業改善を図る。自己申告授業の実施。
- (5) 朝の交通安全の強化を図る。
  - 通用口からの自転車の出入りを徹底する。
- (6) 放課後の安全指導の強化を図る。
  - 下校時間と部活開始を待つ時間のきまり(図書館で過ごす)の徹底を図る。

5 評価結果 ※ ( ) 内の数値は前期の肯定率

(1) 運営・管理

① 教育公務員としての自覚、家庭・地域に信頼される学校	A
② 個人研修・校内研修の充実、教職員の資質向上と指導力の向上	A
③ 特別支援教育の組織的な推進及び充実	A
④ 施設・設備・備品の計画的管理、教育環境の整備	A

ほとんどの項目が目標に届いており、良好である。特に施設・設備の整備は肯定率100%である。市教育委員会の速やかな対応に感謝する。

今後は、各学級の実態に合わせた学級目標を立て、全児童で共有して望ましい学級に作り上げていく活動を強化したい。

(2) 学び合う集団づくり

① よりよい生活や望ましい人間関係を築く学級づくり	A
② 児童理解を基盤にした生徒指導や教育相談の定期的・計画的な推進	A

学び合う集団づくりについては、どの学級でも工夫して取り組まれており、良好な結果である。

朝の会で一日の目標を立て、帰りの会でそれを振り返る取り組みが若干弱い。自主的な活動を促す意味でも、今後改善していきたい。

(3) 確かな学力の育成

① めざす授業像を共有した、授業改善	A
② 教材研究の充実	A
③ 学力向上マネジメントの推進	B
④ 学力を支える力の育成	B

確かな学力の育成については、校内研修や授業改善への取り組み及び「指導の手引き」を使っの共通実践では効果が見られるが、各種検査の結果は、目標に若干届かない結果となっている。授業のタイムマネジメント、カリキュラム・マネジメントなど、計画的に取り組むことを強化していきたい。

家庭学習の習慣の定着及び読書活動の充実を図る必要がある。

(4) 豊かな心の育成

① 道徳教育推進教諭を中心とした推進体制の構築と道徳教育の確かな実践	B
② キャリア教育、食育、人権教育、平和教育、外国語活動などと各教科等と関連つけた計画の充実と確実な実践	A
③ 各教科等における地域素材を生かした豊かな体験活動の充実	A
④ 生命を尊重する心や態度を育むための自然体験、生活体験の充実	A
⑤ 「言葉づかい」、「挨拶」、「心のみやこ〜7つの習慣〜」への取り組み	A
⑥ 読書活動の充実	A

ほとんどの項目で目標を超えており、良好な結果である。

2学期になって、道徳の時間への意識が若干下がっている。「特別な教科 道徳」に移行する来年度に向けて、道徳の教育課程の共有を図り、道徳の時間への意識を高めたい。

(5) 健康・体力・生活習慣

① 自ら進んで運動に親しむ資質や能力の育成	A
② 運動や遊びの日常化	B
③ 健康・安全指導の充実	A

まだ、体力テストの目標（全国平均並み）に届かない。

体育の時間に運動量を確保する取り組みは改善されているが、朝マラソンや昼休みの外遊びについての意識が改善されていない。児童の体力作りへの意識の向上を図りたい。

(6) 連携・協力

① 日常的な情報の発信	A
② P T A活動、地域の諸行事等への積極的な参加・連携・協力	A

良好である。今の取り組みを継続し、信頼される学校となるよう努めたい。

## 6 総合評価

### 【成果】

- ・ 服務規律の確保や学校の管理等に関して、全職員の協力のもとスムーズな運営ができています。
- ・ 集団活動や学級における活動が工夫され、楽しい学級生活が送れている。
- ・ 校内研修が効果的に行われ、授業改善の意識が向上している。
- ・ 指導の手引きや学びのサイクルの共有で、学習を支える力をつけることができています。
- ・ 教育活動全体を通して、豊かな心の育成が行われている。
- ・ 安全教育、食育などが計画的に行われている。
- ・ 家庭や地域との連携を意識している職員が多い。

### 【課題及び対応策】

- 自主的な学級活動を推進する必要がある。
  - ・ 学級の実態に応じた学級目標を常に意識する工夫をする。
  - ・ 朝の会で今日のめあてを確認し、帰りの会で振り返る活動を徹底する。
  - ・ 学級園の管理意識を高め、栽培活動を計画的に行う。
- 確かな学力の育成を推進する必要がある。
  - ・ 振り返りまで含めての45分完結型授業を徹底する。
  - ・ 学力向上年間サイクルを徹底する。
  - ・ カリキュラム・マネジメントを意識し、年間指導計画と週案をツールとして活用する。
  - ・ 国語と算数は教材研究ノート（マイノート）を作成し、毎時間の授業改善を行う。
  - ・ 「自力でできるか」を意識した形成的評価を入れた授業づくりを進める。
  - ・ 「今日のチェック」と補習学習を計画的に進める。（週案への記入）
  - ・ 家庭学習の習慣の定着を図る。（家庭との協力、個別指導）
  - ・ 読書活動の充実を図る。（平行読書の工夫、「この本を読もう」の見直し）
- 道徳の時間の授業改善を進める必要がある。
  - ・ 校内研修に授業研究会を位置付け、授業改善を図る。
  - ・ 道徳推進教師を中心として、学期ごとに改善を図る。
- 運動能力の向上を図る必要がある。
  - ・ 朝マラソンの必要性を知らせ、意欲的に参加する意識を高める。
  - ・ 体育の時間には、準備運動として縄跳びを取り入れる。
  - ・ 昼休み等の外遊びを奨励する。

## 7 教育委員会への要望

- ・ 施設・設備の修繕への速やかな対応に感謝しています。今後ともご協力をお願いします。
- ・ 「魅力ある学校づくり補助金」で、外部講師招聘が可能になっており、授業改善の研修が充実しています。引き続き事業の継続をお願いします。
- ・ 校庭へのバスケットボールリング等の遊具設置をお願いします。

8 評価結果の詳細 ※ ( ) 内の数値は前期の肯定率

(1) 運営・管理

① 教育公務員としての自覚、家庭・地域に信頼される学校

私は、学校の経営方針を理解し、その具現化に向けた学級経営に努めている。	職員	A 100% (100%)
私は、学校教育目標を理解している。	児童	A 89% (90%)
私は、学級目標を理解している。	児童	B 75% (71%)
学校では、法令遵守等は、組織的に取り組まれている。	職員	A 100% (100%)
職員の「服務に関するアンケート」(肯定90%)	教値	A 100% (100%)
学校では、事件事故等には、速やかに適切に対応されている。	職員	A 100% (100%)
私は、報告・連絡・相談に留意し、業務を遂行している。	職員	A 100% (100%)
学校では、職員間のコミュニケーションが円滑で、組織的な教育活動が行われている。	職員	A 90% (100%)
私は、学校の方針について理解し、業務の工夫改善に努めている。	職員	A 100% (100%)
私は、PDCAのマネジメントサイクルのもと、計画的に業務を遂行している。	職員	A 90% (87%)

② 個人研修・校内研修の充実、教職員の資質向上と指導力の向上

私は、常に研修の成果を生かした日々の授業改善に取り組んでいる。	職員	A 86% (78%)
学校では、校内研修は学校課題解決・職員の資質向上に有効にはたしている。	職員	A 100% (100%)
授業公開 (100%実施)	数値	A 100% (33%)

③ 特別支援教育の組織的な推進及び充実

学校では、特別支援教育について組織的に取り組まれている。	職員	A 100% (100%)
------------------------------	----	---------------

④ 施設・設備・備品の計画的な管理、教育環境の整備

学校では、施設・設備・備品は計画的に整備されている。	職員	A 100% (87%)
学校では、安全点検で教育環境の維持管理が図られている。	職員	A 100% (100%)
学校では、屋内は、清掃が行き届き、清潔な環境が保たれている。	職員	A 90% (87%)
学校では、屋外は、清掃や栽培活動が行き届き、教育環境として望ましい環境が保たれている。	職員	A 90% (100%)
学校は、学習の場にふさわしい環境の整備・充実に努めている。	保護	A 83% (91%)
学校は、安全で楽しく遊べる。	児童	A 81% (88%)
学校には学習に必要なものがそろっている。	児童	A 81% (88%)

(2) 学び合う集団づくり

① よりよい生活や望ましい人間関係を築く学級づくり

私は、学活や短学活を充実させ、自治的な能力の育成を行っている。	職員	A 86% (67%)
学校では、楽しく遊ぶ友達がいます。	児童	A 92% (86%)
子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	保護者	A 89% (92%)
子どもは、学校行事(運動会、遠足など)を楽しみにし積極的に参加している。	保護者	A 96% (96%)
学級では、朝の会と帰りの会でその日の学校生活について振り返っている。	児童	B 61% (62%)
学級では、学級会でみんなで学級の生活について話し合っている。	児童	B 61% (70%)
私は、(学級・授業・その他活動などで)集団活動を工夫し、人間関係を深めることに努めている。	職員	A 100% (100%)
私たちの学級は仲良しで、楽しい。	児童	A 82% (77%)
私は、当番活動や栽培活動の充実を図り、責任感や自己存在感を持たせている。	職員	A 100% (89%)
私は、給食・係・掃除などの当番活動は責任を持って行っている。	児童	A 84% (84%)
学級では、栽培活動を行っている。	児童	B 75% (71%)
私は、学級だより等で児童に学級での活動方針等を周知している。	職員	A 86% (78%)

② 児童理解を基盤にした生徒指導や教育相談の定期的・計画的な推進

私は、共感的態度を基本として児童に接し、信頼関係を築いている。	職員	A 100% (78%)
私は、児童理解をもとに、個に応じた指導・支援に心がけている。	職員	A 100% (89%)
先生は、がんばったことやできたことをほめてくれる。	児童	A 80% (82%)
先生は話を聞いてくれる。	児童	A 80% (82%)
学校では、教育相談週間は、有意義に行われている。	職員	A 89% (86%)
先生は、子どもの困ったことや悩みなどについて、誠実に対応している。	保護者	A 83% (79%)
先生は、困ったときなど何でも相談にのってくれる。	児童	B 75% (78%)
学校では、積極的な生徒指導で、問題行動等の未然防止・早期発見ができています。	職員	A 100% (93%)
学校では、「いじめ防止基本方針」に則った取組が行われている。	職員	A 100% (93%)
学校では、定期的に生徒指導などの児童理解の話し合いがもたれ、その対応に対して、共通理解が図られている。	職員	A 100% (86%)

(3) 確かな学力の育成

① めざす授業像を共有した、授業改善

私は、めざす授業像を共有し、それに向けて授業改善に取り組んでいる。	職員	A 100% (89%)
私は、「学力向上推進プロジェクト」を意識して、授業改善に取り組んでいる。	職員	A 100% (78%)
私は、毎時間の授業に形成的評価(その時間のチェック)を位置づけている。	職員	A 86% (56%)
授業は、ベルとともに始まり、チャイムとともに終わる。	児童	B 63% (68%)
授業では、自分で考える時間がある。	児童	A 86% (85%)
授業では、友達と話し合う時間がある。	児童	A 81% (81%)

② 教材研究の充実

● 私は、週案を活用し、単元を見通した教材研究に努めている。	職員	A 86%(89%)
● 私は、各種調査の分析及び活用に努めている。	職員	A 86%(63%)
● 私は、年間指導計画の日常的な見直しを行っている。	職員	B 71%(63%)
● 週案提出率90%以上	数値	B 69%(77%)
● 子どもは、授業が楽しいと言っている。	保護者	A 81%(85%)
● 先生は、子どもたちの能力や努力を適切・公平に評価している。	保護者	A 90%(89%)
● 授業は、わかりやすく楽しい。	児童	B 71%(82%)

③ 学力向上マネジメントの推進

● 私は、学力向上年間サイクルを意識して取り組んでいる。	職員	B 71%(75%)
------------------------------	----	------------

④ 学力を支える力の育成

● 私は、指導の手引きによる全校共通実践に努めている。	職員	A 86%(89%)
● 私は、学びのサイクル徹底に努めている。	職員	A 100%(75%)
● 家庭学習・宿題提出率95%以上	数値	B 75%(90%)
● 家庭では、子どもの家庭学習の時間を確保し励ましの声かけに努めている。	保護者	A 89%(83%)
● 私は、並行読書に取り組んでいる。	職員	B 71%(78%)
● 「この本を読もう」完読者が50%以上	数値	D 2% (12月現在)

(4) 豊かな心の育成

① 道徳教育推進教諭を中心とした推進体制の構築と道徳教育の確かな実践

● 私は、道徳の時間を核として、道徳教育の充実に取り組んでいる。	職員	B 71%(100%)
----------------------------------	----	-------------

② キャリア教育、食育、人権教育、平和教育、外国語活動などと各教科等と関連づけた計画の充実と確かな実践

学校では、キャリア教育、食育、人権教育、平和教育、外国語活動などの目標・内容と各教科等と関連づけた計画が作成されている。	職員	A 89%(100%)
--	----	-------------

③ 各教科等における地域素材を生かした豊かな体験活動の充実

学校では、各教科等における地域素材を生かした豊かな体験活動の充実が図られている。	職員	A 89%(93%)
--	----	------------

④ 生命を尊重する心や態度を育むための自然体験、生活体験の充実

学校では、生命を尊重する心や態度を育むための自然体験、生活体験の充実が図られている。	職員	A 89%(92%)
--	----	------------

⑤ 「言葉づかい」、「挨拶」、「心のみやこ〜7つの習慣〜」への取り組み

学校では、「言葉づかい」、「挨拶」、「心のみやこ〜7つの習慣〜」への取り組みがされている。	職員	A 100%(86%)
● 先生は、やっといういいこと・悪いことについてきちんと指導している。	保護者	A 95%(91%)
● 児童の自己評価 (80%以上)	数値	A 80%(80%)

⑥ 読書活動の充実

● 目標読書冊数を超える児童が90%以上	数値	A 91%(94%)
● 朝の読書、読み聞かせ、並行読書などの取組は、児童が本に親しむ習慣づけに効果的である。	職員	A 100%(100%)
● 読書は楽しい。	児童	A 83%(88%)

(5) 健康・体力・生活習慣

① 自ら進んで運動に親しむ資質や能力の育成

● 私は、体育の時間は運動する時間を増やす工夫をしている。	職員	A 100%(100%)
● 体力テスト(全種目全国偏差値-5未満)	数値	B 83%
● 体育では、運動する時間が十分にある。	児童	A 83%(85%)

② 運動や遊びの日常化

● 朝マラソンでは、体力の向上のために、歩かずに走っている。	児童	B 64%(65%)
● 昼休みは、外で遊ぶことが多い。	児童	B 52%(48%)
● 私は、外遊びを奨励する工夫をしている。	職員	B 71%(78%)

③ 健康・安全指導の充実

● 安全計画・防災計画は計画的に実施されている。	職員	A 100%(100%)
● 安全点検は、児童の安全な環境を守る為に効果的に行われている。	職員	A 100%(100%)
● 児童の食育は計画的に行われている。	職員	A 100%(93%)
● 学校は、子どもの安全指導や事故防止に努めている。(安全点検・安全指導・避難訓練等)	保護者	A 94%(88%)
● 私は、健康な体づくりのために好き嫌い無く食べる努力をしている。	児童	A 81%(79%)
● 家庭では、子どもに早寝早起きをさせている。	保護者	A 90%(82%)
● 家庭では、毎日、朝食を食べさせてから登校させている。	保護者	A 95%(95%)
● あなた(保護者)は、子どもに自力登校(自転車・徒歩登校)させるよう努めている。	保護者	B 71%(70%)
● 児童の生活リズムの自己評価(90%以上)	数値	B 86%(80%)

(6) 連携・協力

① 日常的な情報の発信

私は、たより等で教育活動について児童や保護者の理解を深めることに努めている。	職員	A 100%(100%)
学校は、授業参観や懇談会などの機会を適切に設けている。	保護者	A 90%(92%)
学校は、教育活動や児童の様子などをたよりなどで分かりやすく伝えている。	保護者	A 89%(90%)

② P T A活動、地域の諸行事等への積極的な参加・連携・協力

私は、P T A 活動や地域の諸行事に積極的に参加し、連携に努めている。	職員	A 89%(86%)
私は、保護者との信頼関係作りに努めている。	職員	A 100%(100%)
● 学校は、保護者や地域の人々との交流を積極的に進めている。	保護者	B 78%(85%)
あなた(保護者)は、P T A 活動・授業参観等の学校行事にできるだけ参加するように努めている。	保護者	A 83%(78%)